

最優秀賞

芸術を世界に

箕蚊屋中学校 2年 平石千奈月

みなさんは「芸術」と言われると、何を思い浮かべるだろうか。絵画、音楽、舞台。芸術といわれるものはたくさんあるが、その中で私はクラシックバレエを習っている。バレエは音楽、踊り、舞台演出が組み合わさった総合芸術だ。そんなバレエを習い始めたのは小学一年生の時。それまで全く興味がなかったのだが、テレビで初めてバレエを目にした時、美しい衣装に心を奪われ、習い始めた。続けるうちに踊ること、上達することの楽しさに目覚め、そのうちバレリーナになりたい、という思いが強くなった。キラキラと輝く舞台で毎日のように踊れたら、どんなに素晴らしいことだろう。だがその道はそんなに甘くないことを初出場したコンクールで思い知らされた。同年代の人たちの踊りは皆、完成度が高く私は衝撃を受けた。コンクールには何百人もの未来のバレリーナが集まり、競い合う。そんな中私は、全く結果を残せなかった。家族から応援してもらい、私のために時間を費やしてもらっているにもかかわらず、夢を諦めようと思ったこともある。

そんな未熟な私を救ってくれたのは母の「練習しなさい、努力しなさい」という言葉だった。練習すれば必ず報われる、そう思い続け一年間バレエに没頭した。途中足が痛くなったり、やりたくない、と思う時もあったがその結果はちゃんとしてきた。そして昨年、コンクールで初入賞を果たすことができた。努力は裏切らない、そのことを実感した一年だった。

もし私が将来、バレリーナになることができたなら、私は世界中の人々にバレエの美しさを伝えたい。現在も世界で活躍する日本人ダンサーはたくさんいる。私もその一員となり、またバレエに馴染みのない地域にもバレエを広めていきたい。戦争で苦しむ人、貧しい地域で懸命に生きる人たちにも芸術の素晴らしさを味わってほしいと思う。バレエには言葉がなく、どこの国でも通じるから。

争いがなく、世界中の人がつながりあえること、それは誰もが願うことではないだろうか。そのきっかけとなるものをバレエを通してつくっていききたい。それが私の夢である。